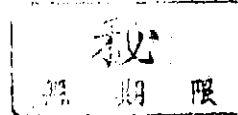


秘密指定解除

公文書監理室



外 務 省

経協2合第1485号

昭和47年4月26日

在 外 公 館 長 殿

外 務 大 臣

昭和48年度無償援助対象プロジェクト
(訓令)

空年5月19日付往信経協2合第2003号
に關し、

1. わが國の無償援助政策及びその実施方針に
ついては、既に当省としての基本的考え方を
とりまとめ、冒頭往信にて通報したところ、
賠償、準賠償の漸減傾向、援助の質的改善の
緊要性、社会開発面の援助拡大の必要等にか
んがみ、当省としては今後無償援助の規模を

引続き拡大して行く考えであり、かかる考え方に基づき昭和48年度無償援助計画を作成し、このための予算要求を行なうべく現在作業を進めている。

2. 昭和48年度においては、これまでのプロジェクトベースの無償援助の規模の拡大をはかるとともに、プロジェクトを特定せず、時宜に応じ機動的に供与しうるタイプの無償援助を医療等の特定分野について開始することを検討している。また、プロジェクトベースの無償援助対象プロジェクトについては、分野を限定し、社会開発、特に公共福祉部門及び教育訓練部門に重点を置き、わが国が現在実施中の技術協力とつながりのあるものは優先的にとりあげることとするが、LLDC及び戦争、災害等の理由により火急の必要ある場合は、インフラストラクチュア部門のプロジェクトについてもとりあげることとしたいと考えている。

3. 以上の如き当方の考え方につき貴見回示ありたく、特に、プロジェクトの特定について

聽的無償援助を開始した場合、貴任国においてかかる援助を行なうべき分野、援助の効果、問題点等につき貴見報告ありたい。例えば、カンボディアに対する病院供与、ヴェトナムに対する難民住宅供与等のプロジェクトについてもこの種援助開始の際、その枠内に入れて検討することとしたので、出来る限り詳細な資料を送付ありたい。

4. プロジェクトベースの無償援助については、当方内部における検討及び貴館よりの随時の報告等にもとづき別紙記載の如きプロジェクトにつき検討中であるが、貴館として昭和48年度において貴任国に対し無償援助により新規に実施すべしと思われるプロジェクト（別紙記載のプロジェクトを含む）につき、下記諸事項を出来る限り詳細に調査の上、貴館としての優先順位を付して6月15日までに本省に必着するよう報告ありたい。

記

1 プロジェクト名

2 プロジェクトの内容

(イ) 全体計画とわが国による援助の対象部分の
詳細及び両者の関係

(ロ) プロジェクトが多年度にわたる場合には、
その年度計画毎の全体計画と援助対象部分
の詳細

(ハ) 援助対象部分が更に分割実施が可能な場
合には、各区分の詳細及びその優先順位

3 プロジェクトの意義と効果

(イ) プロジェクトの経済的、社会的効果

(ロ) わが国が実施している技術協力等との関
連

(ハ) わが国外交政策上の意義

(ニ) わが国経済協力のPR効果

4 所要経費見積り

(イ) 総経費： 全体計画と援助対象部分の内
訳及び積算

(ロ) 外貨分及び内貨分： 全体計画及び援助対象部分についての外貨内貨の別及び内貨分についてわが方が負担すべき場合にはその理由及び内貨分の額（先方負担可能額及びわが方負担必要額を明記されたい。）。

(イ) 見積りの前提： ①請負業者は、日本の業者を予定しているのか又は被援助国の業者を予定しているのか、②見積りの作成者名及びその信頼度、③輸送費、保険料、据付費を含むか否か。

5. 所要期間： 機材の場合には、製作、輸送、据付完了まで、工事の場合には、調査、設計、着工、完成に至る所要期間

6. 予備調査及び設計の要否： ①予備調査が必要な場合にはその調査内容及び経費（積算を含む）、②設計（基本及び実施設計）が必要な場合には、その内容及び経費（積算を含む）、③設計は、全体計画を対象とするものか又は援助対象部分のみで足りるものか、及

び各々の場合の経費。

7 技術協力の要否： プロジェクトの運営のため専門家派遣、要員訓練を要するか否か、要する場合には、その内容、人員数、経費の詳細。

8 その他参考となる事項

付 属 添 付

本 信 送 付 先 韓国、フィリピン、ヴィエトナム、ラオス、カンボディア、タイ、インドネシア、ビルマ、インド、ダッカ、セイロン、ネパール、アフガニスタン、タンザニア、エチオピア

本 信 写 送 付 先 マレーシア、シンガポール

(別紙)

昭和48年度無償援助プロジェクト(案)

〔 韓 国 〕

継続実施プロジェクト(金烏工業高校)及び新規プロジェクトとしてソウル大学工学部への機材・設備供与

〔 ヴィエトナム 〕

継続実施プロジェクト(チョーライ病院及び孤児職業訓練センター)及び新規プロジェクトとしてカントー大学農学部建設

〔 ラオス 〕

新規プロジェクトとしてヴィエンチャン上水道改修

〔 カンボディア 〕

比較的短期間に供与を了し得る機材供与を中心とするプロジェクト(実施に長期間を要するプロジェクトは、日本人従事関係者の安全等につき、種々問題が生じ得るので避けることとする。)

〔タイ〕

継続実施予定プロジェクト（キングモンク
ット技術大学、AIT センター）及び新規プロジ
ェクトとして口蹄疫ワクチン製造センター

〔フィリピン〕

社会開発部門の適当なプロジェクト

〔インドネシア〕

わが国より毎年多額の借款及び食糧援助が
供与されている関係もあり、無償援助プロジ
ェクトを新規にとり上げることは、極めて困
難と思われるが、教育関係の適当なプロジ
ェクトがあれば検討する。

〔ビルマ〕

社会福祉部門又は教育訓練部門の適当な
プロジェクト

〔インド〕

継続実施プロジェクト（JALMA インドセン
ター拡充）

〔バングラデシュ〕

難民救済等の社会福祉関係のプロジェクト

〔セイロン〕

ネゴンボ漁業訓練センター拡充

〔ネパール〕

適当なノプロジェクト

〔アフガニスタン〕

適当なノプロジェクト

〔タンザニア又はエチオピア〕

プロジェクトを対象とする無償援助は現在まで主として東南アジア地域を対象としてきたところ、昭和48年度においては、アフリカ地域をも対象としてとりあげたく、先ず手始めに、タンザニア又はエチオピアに適当なプロジェクトがあれば、とり上げる方向で検討する。